

## 絵本の「食」を表現する言葉を探る —テキストマイニング法を用いて—

Exploring the expression of "food" in picture books through text mining

外岡和菜<sup>1)</sup>, 鎌田那央子<sup>1)</sup>, 石川伸一<sup>2)</sup>

Kazuna Tonooka<sup>1)</sup>, Naoko Kamada<sup>1)</sup>, Shin-ichi Ishikawa<sup>2)</sup>

1) 宮城大学大学院食産業学研究科, 2) 宮城大学食産業学群

1) Graduate School of Food, Agricultural and Environmental Sciences, Miyagi University

2) School of Food Industrial Sciences, Miyagi University

### 【キーワード】

絵本, 子ども, 食育, テキストマイニング,  
KH Coder  
picture book, children, dietary education,  
text mining, KH Coder

### 【Correspondence】

石川伸一  
宮城大学食産業学群  
ishikawa@myu.ac.jp

### 【Support】

本研究は JSPS 科研費 JP21K18114 の助  
成を受けた。

### 【COI】

本論文に関して、開示すべき利益相反関  
連事項はない。

Received 2024.05.07

Accepted 2024.09.02

### Abstract

Picture books are typical resources used in dietary education for children, and their effectiveness has many possibilities. The purpose of this study was to investigate the "words" used in picture books depicting "food" using text mining. KH Coder 3. was used for text mining, and three types of analysis were conducted: the frequency list of words, hierarchical cluster analysis, and co-occurrence network. The results showed that in addition to basic words such as "say" and "eat," some words that remind us of home, such as "mother," "father" and "house," were used frequently. In addition, it was found that picture books depicted scenes in which the characters "eat" and "make" together with other characters, and "eat" "delicious" food with an awareness of "taste" and "smell," which is expected to contribute to the natural development of a rich image of "food" among children.

---

## はじめに

---

近年、子どもの食をめぐるのは、発育・発達重要な時期でありながら、栄養素摂取の偏り、朝食の欠食など、問題は多様化し、生涯にわたる健康への影響が懸念されている。わが国において、2004年2月「食を通じた子どもの健全育成（—いわゆる「食育」の視点から—）のあり方に関する検討会」の報告書[1]が取りまとめられ、家庭や社会の中で、子ども一人ひとりの“食べる力”を豊かに育むための支援づくりを進める必要があるとしている。また、2005年6月には「食育基本法」が成立し、同年7月から施行された。食育基本法の前文[2]には、「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも「食」が重要である。今、改めて食育を、生きる上での基本」であるとしている。

食育[3]とは、「様々な経験を通じて、「食」に関する知識と、バランスの良い「食」を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育むこと」を指す。食育は、幼児期～小児期の頃から必要とされており、2018年4月より適用されている保育所保育指針[4]においても、「保育所における食育は健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標とすること」が明記されている。さらに、食に関する指導手引き[5]によると、「幼児期には、食べる喜びや楽しさ、食べ物への興味や関心を通じて自ら進んで食べようとする気持ちが育つようにすることが大切であり、これらのことが小学校以降の食育の充実につながる」としている。

幼児期～小児期に向けた食育活動で使用される代表的な教材媒体として「絵本」があげられる。絵本は、「絵とことば」、「描く力」と「語る力」がからみあって、ひとつの流れを持ちながら、構築される世界[6]であり、幼児の情操教育に大きな役割を果たしている。子どもたちは、絵本を読むことで、絵に添えられたわずかな言葉で何が一番大事なことをか理解し、絵本からもらう想像力と自分の実体験をクロスしながら、様々な概念を認識する[7]。

今日、「食べ物」や「食べること」を描いた絵本は数多く出版されており、それら絵本は読み聞かせや、実際に登場する料理を給食献立や調理保育に取り入れることで食育に活用されている[8]。絵本を食育活動に活用することの効果を検討した先行研究[9][10][11][12]においては、食への関心や食知識・食態度の向上などが確認されており、食育活動に絵本を活用することは多くの可能性を秘めているといえる。

それら先行研究においては、食育に使用する絵本の選択や分類は著者等が実際に読んで内容や文脈を把握することにより行われており、本研究の著者らは、端的に伝えたい内容を表現している絵本のテキストからキーワードを抽出することが、絵本のコンセプトを直感的に把握するのに有効ではないかと考えた。そこで今回は絵本のテキストデータを分析する手法としてテキストマイニングを採用した。テキストマイニングはテキストデータを計算機で定量的に解析して有用な情報を抽出するための様々な方法の総称であり、自然言語処理、統計解析、データマイニングなどの基盤技術の上に成り立っている[13]。これまで分析者の主観や判断が無意識のうちに結果に反映される恐れがあったテキストデータ分析において、分析の信頼性を担保しづらいつという問題を克服することができる特徴を持ち[14]、加えて様々な表現方法によって、言葉同士のつながりを分かりやすく示すことができる。

これまで絵本の「言葉」そのものに着目した研究報告はなく、本研究では「食」に関わる絵本に使われている「言葉」をテキストマイニングによって分析し、どのような「言葉」をもって「食」が描写されているのか明らかにすることを目的に探索的な調査を行った。

---

## 研究方法

---

### 1) データの概要

本研究では、川端らの書籍「子どもの本と〈食〉物語の新しい食べ方」[15]にて紹介された本を対象とした。書籍は百合女子大学児童文化センターの Food for Thought という児童文学における食の表象を研究対象としたプロジェクトの成果であり、紹介された本は児童文学を専門とす

るセンター研究員や大学院修士課程、博士課程在学生らから構成されるメンバーによる協議によって選定されている。今回その中から絵童話、児童文学、児童書を除き、絵本のみを抽出した。絵本の選別は、全国学校図書館協議会絵本選定基準[16]を参考に行い、絵の比重が本の半分以上を占めていることを確認した。例外として、文字のない絵本、全てのページにおいて同じ文章が繰り返される絵本、内容が物語ではなく歌詞である絵本は除いた。その結果、対象となる本は計94冊となった(巻末資料を参照)。また、これらの絵本は川端らによって、「遊びと食」、「飲食と身体[食とセクシュアリティ]」、「飢餓と飽食」、「儀式としての食」、「擬人化された食べもの」、「教育と食」、「食からわかる時代と地域」、「食を通じたコミュニケーション」、「食をめぐる諸問題」、「捕食関係[食う/食われる]」の10カテゴリに分類された。

## 2) 分析の手順

本研究ではKH Coder 3.Beta. 07e[17]を用いてテキストマイニングを行い、詳しい分析の手順は図1に示した。手順は樋口[17]の方法を参考に、まずはテキスト欠損値やパソコンで読み込み不可能な表記の削除、誤字脱字の修正を行うことでデータのクリーニングを行った。さらに、短縮化した表記やカタカナ、ひらがな表記、同義語などを統一した。例えば、赤ちゃんを指す語である「赤ん坊、赤子、ベビー」を「赤ちゃん」に統一するといったことである。これらの作業に関しては、「変換対応表」を作成し記録に残した。分析用データとして整ったところでKH Coderに読み込ませ、前処理を行った。前処理とは、形態素解析によりテキストから品詞別に抽出語を抜き出し、データベースとして整える作業である。前処理を実行後、8,419の文が確認され、総抽出語数は108,965、異なり語数は6,319であった。「助詞」や「代名詞」など分析対象として不適切な品詞を除外し、最終的に分析に使用した語は25,482、異なり語数は3,871となった。分析に適したデータに整えたところでテキスト計量分析を行った。テキストマイニングでは頻出語の抽出、階層的クラスター分析、共起ネットワークの3つの分析を行った。



図1 テキストマイニングの手順

## 結果および考察

### 1) 頻出語の抽出

対象の絵本においてどのような言葉が多く使われているかを知るために出現回数の多い順から上位30位までを表1に示した。「食」にまつわる絵本を対象としている点より「食べる」の出現回数が2番目に多く、ほとんどの頻出語が出現回数100回を超えていた。上位の頻出語である「お母さん」、「家」、「お父さん」に見られるように家庭に関連する言葉が抽出された。

表1 絵本文より抽出された頻出語リスト(上位30位)

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
言う	567	パン	128
食べる	449	おいしい	124
お母さん	252	帰る	120
家	232	思う	118
見る	160	作る	113
お父さん	154	入る	110
ない	151	卵	110
クマ	150	おばあさん	105
いい	148	ジャム	104
来る	143	出る	104
子	141	子ども	103
ネズミ	138	お腹	100
木	135	持つ	99
ごはん	129	頭	99
行く	129	目	99

## 2) 階層的クラスター分析

次に抽出された言葉を類似したもので分類し特徴を把握するために、頻出語リスト上位30位の語句を対象とした階層的クラスター分析を実施した。クラスターの分け方についてはWard法を、距離計算はJaccardの方法を用いた。結果は図2のようになり、11クラスターでの構成となった。第3クラスターの語句は絵本の文章において「家」に「帰る」、「入る」、「持って帰る」等で使用されていた。第5クラスターの語句は「ごはん」を「作る」、「食べる」等で使用されていた。「お腹」は「お腹が空く」、「お腹がいっぱい」等で用いられているため、お腹が空く→ごはんを作る→ごはんを食べる→お腹がいっぱいになる、という自然な行動パターンが絵本でも表現されていたと考えられる。



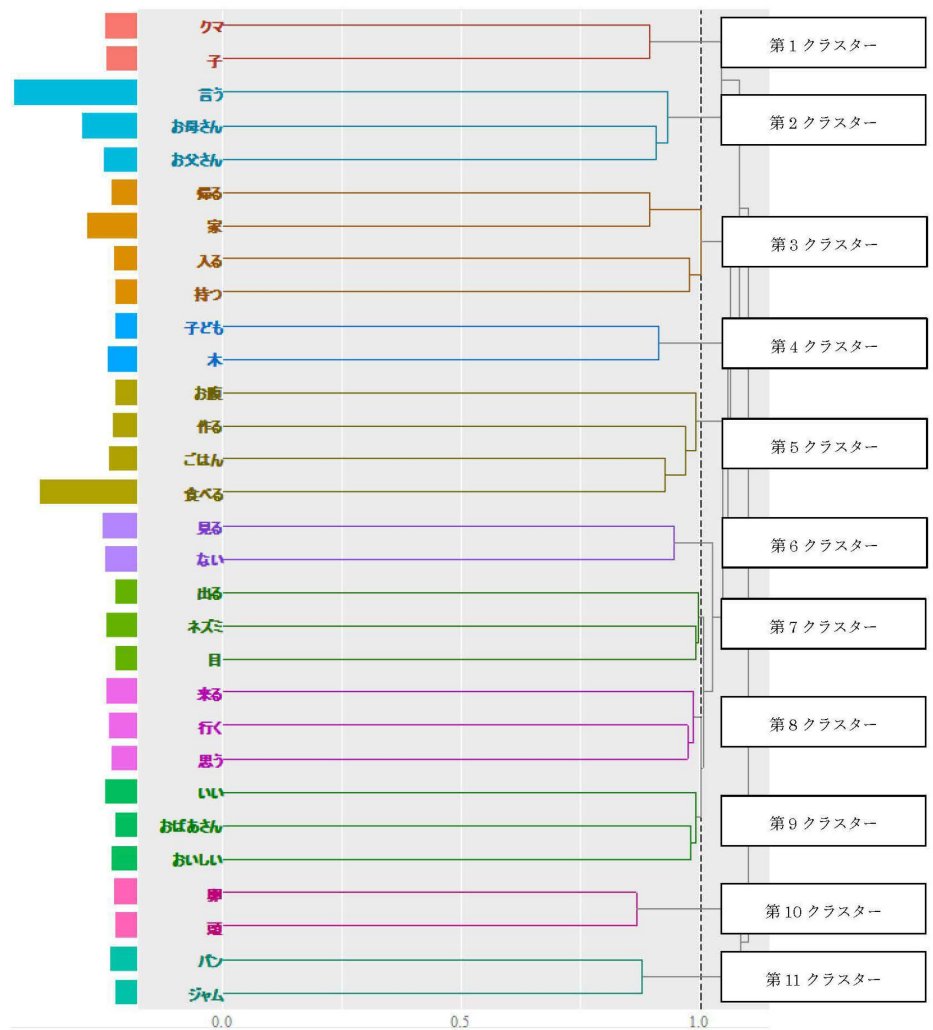


図2 頻出語句(上位30位)の階層的クラスター分析

### 3) 共起ネットワーク

#### ①抽出後の共起ネットワーク

共起ネットワークとは、共起の程度が強い語と語を線で結んだネットワークのことである。実線はグループ内の語同士を繋ぎ、点線は異なるグループの語同士の共起を示している。強く結びついている部分ごとにグループ分けが行われ、出現数の多い語ほど大きい円で描画される。今回の分析では共起関係の算出に Jaccard 係数を使用し、図中の Coefficient は Jaccard 係数を示している。数値が 1 に近いほど共起性は強い。抽出語の最小出現回数を 60 回、描画する共起関係の絞り込みを上位 80 と設定した。結果、図 3 に示した共起ネットワーク図は 8 つのサブグラフで構成された。01 サブグラフでは「ごはん」を中心として「食べる」、「作る」、「一緒」が共起していた。「一緒」についての文脈を確認したところ、食材同士の組み合わせとして何かを「一緒」に食べる意味で用いられている例も見られたが、ほとんどは誰かと「一緒」に食べる意味で用いられていた。また、03 サブグラフでは階層的クラスター分析での分類と共通して「言う」、「お母さん」、「お父さん」が共起していることが確認できた。「お母さん」については 01 サブグラフの語句である「食べる」、「ごはん」、「作る」に共起し、07 サブグラフの「子」とも共起している。「子」はさらに「聞く」、「分かる」とも共起していることから「お母さん」が「ごはん」を作り、また「子」に対して話をし、理解を促している場面表現がされていることが読み取れた。他のグループの語句における繋がりについて着目すると、02 サブグラフの「お腹」は「いっぱい」、「食

# Miyagi University Research Journal

べる」と共起しており「お腹いっぱい食べる」ことが文章内で表現されていることが確認できた。04サブグラフでは「家」を中心として「行く」、「帰る」、「来る」、「持つ」などの関連する動詞と共起していた。06サブグラフでは「木」、「りんご」、「取る」が共起しており、「木からりんごを取る」という一連の動作で分類されていることが確認できた。

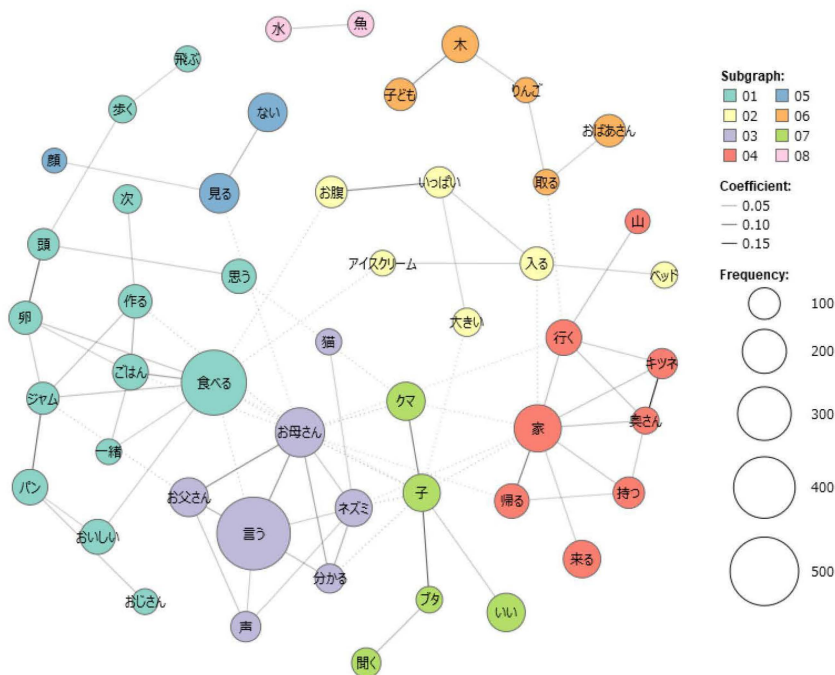


図3 抽出語全体の共起ネットワーク

## ②関連語共起ネットワーク

本研究の目的は絵本における「食」の描写を明らかにすることであった。そこで、「食」の大きな喜びである「おいしい」がどのように絵本で表現されているかを調べるため、「おいしい」をキーワードとした関連語検索を行い、関連した語句による共起ネットワーク図を図4の通り作成した。描画する共起関係の絞り込みは上位80と設定した。図4より、「おいしい」と共起した語として「におい」、「味」、「食べる」、「作る」などが確認された。01サブグラフでは「食べる」に「変」と「形」が共起しており、文脈を確認したところ「変」な「形」のものを「おいしい」とポジティブに捉えていた。また02サブグラフでは「におい」、「ごちそう」、「台所」、「おばあさん」が共起しており、「おばあさん」は04サブグラフの「作る」とも共起している。よって「おいしい」と「におい」は、「ごちそう」や「おばあさん」が「作る」ものに起因していると考えられる。また04サブグラフでは「作る」、「ごはん」、「晩」が共起しており「おいしい（晩）ごはんを作る」場面が絵本の内容に含まれていると考えられる。また03サブグラフと04サブグラフでは「パン」、「ジャム」、「ケーキ」、「チーズ」などの食品が共起しており、これらの食品が絵本の中で「おいしい」ものとして扱われやすい傾向にあることが推測された。



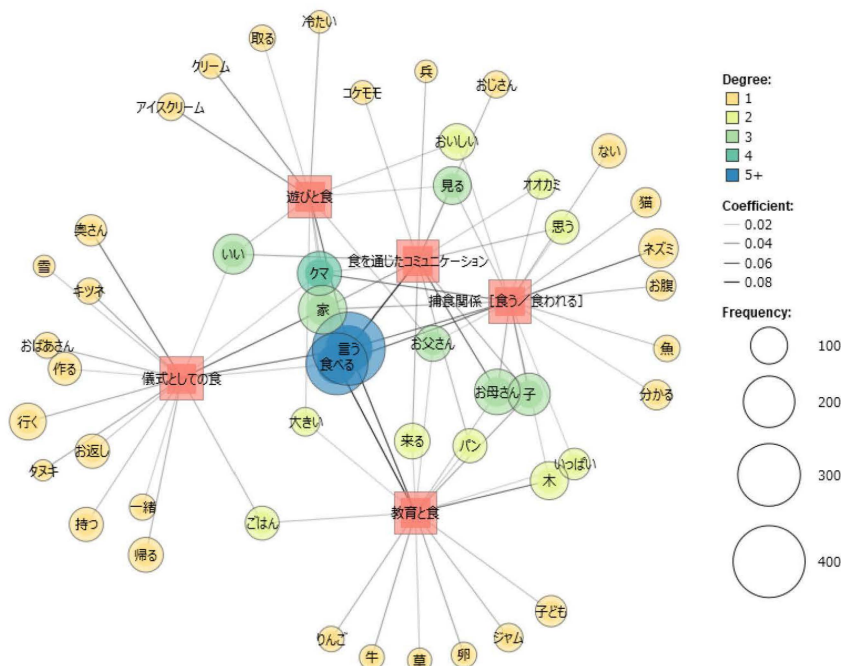


図5 作品カテゴリを外部変数とした共起ネットワーク

おわりに

本研究ではテキストマイニングを用いて、幼児の食育に重要な役割を持つ絵本の中で「食」がどのような言葉を用いて描写されているのかを調査した。結果、絵本では「言う」、「食べる」などの基本的な言葉に加え、「お母さん」、「お父さん」、「家」など家庭を想起させる言葉が頻出していることが分かった。また誰かと「一緒に」に「作る」または「食べる」ことが表現され、物語の舞台となる場所としては「家」が中心となることが明らかとなった。これは食を通じた子どもの健全育成の目標である5つの子どもの姿[1]のうち、「一緒に食べたい人がいる」、「食事づくりや準備に関わる」ことに対応していると考えられる。加えて、「おいしい」に対して「におい」、「味」、「食べる」が共起しており、これも目標の姿の1つである「食事を味わって食べる」ことを表現していると言える。よって、これらの絵本を通じて、子どもたちは誰かとごはんを作ったり食べたり、さらには五感を用いて食べ物のおいしさを感じる疑似体験をし、実践的な食育指導が行われる前でも、豊かな食のイメージが子どもたちの中で自然に育まれていることが期待される。

さらに母や祖母などがごはんを作り、両親が子に対して教えるという構成が確認されたことから、絵本の表現における家族それぞれの役割の傾向が見られた。今回分析対象とした絵本では登場人物が人間以外の生物で構成されているものも多く見られたが、登場人物同士の関係について家族の要素を取り入れることで、絵本の話をつもどもの実生活と繋げやすくしているのではないかと考えられる。

今回対象の絵本は1956年から2006年の間に出版されたものであり、翻訳したものも含まれるため時代・文化背景が絵本によって大きく異なっていたが、共通した食の描写を読み取ることができた。そのため今後は、著者、時代や売り上げなど、様々なカテゴリ別で絵本をテキストマイニングにより分析した場合にも、それぞれの特徴を可視化できることが期待される。また食育の実施前後に、関連する絵本の読み聞かせを導入することは子どもたちの関心を引き出すことや食育の追体験として効果的であり[10][12]、食育の目的とマッチした絵本を選定する際にも、今回のようなテキストマイニングによる言葉の分析結果は活用できる可能性がある。そのため今後はさらなるデータの確保を行い、安定して抽出される言葉や表現を見出す必要があると考える。



Acknowledgement

本研究はJSPS 科研費 JP21K18114「都市の倫理的変容のための学際研究：持続可能性、情報、レジリエンス、食、経済」の助成を受けた研究成果の一部である。

文献

- [1] 厚生労働省雇用均等・児童家庭局, 楽しく食べる子ども～食からはじまる健やかガイド～「食を通じた子どもの健全育成(—いわゆる「食育」の視点から—)のあり方に関する検討会」報告書. 2004.
- [2] 農林水産省, 食育基本法(平成十七年六月十七日 法律第六十三号). 2005.
- [3] 政府広報オンライン, 「食べる力」=「生きる力」を育む 食育 実践の環(わ)を広げよう. 2023.  
https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/3.html (2024年3月15日閲覧)
- [4] 厚生労働省, 保育所保育指針(平成二十九年三月三十一日 厚生労働省告示第百十七号). 2018.
- [5] 文部科学省, 食に関する指導手引き—第二次改訂版—「第1章 学校における食育の推進の必要性」. 2019.
- [6] 黒澤浩, 佐藤宗子, 砂田弘, 中多泰子, 広瀬恒子, 宮川健郎新, こどもの本と読書の事典. ポプラ社, 2004.
- [7] 河合単雄, 松井直, 柳田邦男, 絵本の力. 岩波書店, 2001.
- [8] 大坂裕子, 上杉幸, 保育所における食育活動への絵本の活用実態. 日本食育学会誌, 2020. 14(2): p. 101-106.
- [9] 城戸杏奈, 高村仁知, 上田由喜子, 小学2年生に対する絵本を用いた食育の有効性—食知識と食態度に着目して—, 栄養学雑誌, 2012. 70(4): p. 236-243.
- [10] 梅本真美, 奥野そのみ, 吉本優子, 谷川賀苗, 南出隆久, 幼稚園児を対象とした食育プログラムの取り組み—野菜に興味・関心をもつ食育と絵本の連携プログラムの実践—. 人間科学部研究年報(帝塚山学院大学), 2013. 15: p.74-82.
- [11] 堤千代子, 森恵子, 永島倫子, 菅淑江, 絵本の中の食育. 中国学園紀要, 2008. 7: p. 177-188.
- [12] 川崎真弥, 堤千代子, 森恵子, 絵本を使った食育の効果. 中国学園紀要, 2011. 10: p. 9-17.
- [13] 松村真宏, 三浦麻子, 人文・社会科学のためのテキストマイニング [改定新版]. 誠信書房, 2014.
- [14] 藤井美和, 小杉孝司, 李政元, 福祉・心理・看護のテキストマイニング入門. 中央法規, 2005.
- [15] 川端有子, 西村醇子, こどもの本と〈食〉物語の新しい食べ方. 玉川大学出版部, 2007.
- [16] 公益社団法人 全国学校図書館協議会, 全国学校図書館協議会絵本選定基準 1972.
- [17] 樋口耕一, 社会調査のための計量テキスト分析—内容分析の継承と発展を目指して— 第2版. ナカニシヤ出版, 2020.

巻末資料 分析データ一覧および「子どもの本と〈食〉15」による絵本の分類

No.	書名	著者	出版社	出版年
<b>I. 遊びと食</b>				
1	アイスクリームの国	著：アントニー・バージェス 絵：ファルビオ・チスター 訳：長田弘	いずず書房	2000年
2	あくたれラルフ	著：ジャック・ガントス 絵：ニコール・ルーベル 訳：いしimoto	童話館出版	1994年
3	王さまのアイスクリーム	著：フランセス・ステリット 絵：土方重巳 訳：光吉夏弥	大日本図書	1978年
4	おおきなおおきなおいも	著：赤羽未吉 絵：赤羽未吉	福音館書店	1972年
5	おぼけのてんぷら	著：せなけいこ 絵：せなけいこ	ポプラ社	1976年
6	かじってみたいな、お月さま	著：フランク・アッシュ 絵：フランク・アッシュ 訳：山口文生	評論社	1985年
7	ジャイアント・ジャム・サンド	著：ジョン・ヴァーノン・ロード 絵：ジョン・ヴァーノン・ロード 訳：安西敏雄	アリス館新社	1976年
8	ねえ、どれがいい？	著：ジョン・バーニンガム 絵：ジョン・バーニンガム 訳：まつかわまゆみ	評論社	1983年
9	バムとケロのちようび	著：島田ゆか 絵：島田ゆか	文溪堂	1994年
10	まよなかのだいどころ	著：モーリス・センダック 絵：モーリス・センダック 訳：じんくうてるお	富山房	1982年
<b>II. 飲食と身体 [食とセクシュアリティ]</b>				
11	アボカド・ベイビー	著：ジョン・バーニンガム 絵：ジョン・バーニンガム 訳：青山南	ほるぷ出版	1980年
12	うんちしたのはだれよ！	著：ヴェルナー・ホルツヴァルト 絵：ヴォルフ・エールブルッフ 訳：関口裕昭	偕成社	1983年
13	がいこつさん	著：五味太郎 絵：五味太郎	文化出版局	1982年
14	くいしんぼうさぎ	著：せなけいこ 絵：せなけいこ	ポプラ社	2004年
15	くいしんぼうシマウマ	著：ムウェニエ・ハディシ 絵：アドリエンス・ケナウエイ 訳：草山万鬼	西村書店	1988年
16	ストライプ たいへん！しまもようになっちゃった	著：デヴィッド・シャノン 絵：デヴィッド・シャノン 訳：清水燕緒子	セラー出版	1990年
17	ゼラルダと人喰い鬼	著：トミー・ウングラー 絵：トミー・ウングラー 訳：たむらりゅういち、あそうくみ	評論社	1977年
18	はらべこあおむし	著：エリック・カール 絵：エリック・カール 訳：もりひさし	偕成社	1976年

# Miyagi University Research Journal

<b>III. 飢餓と飢食</b>			
19	くもりときどきミートボール	著：ジュディ・バレット 絵：ロン・バレット 訳：青山南	ほるぷ出版 2004年
20	じゃがいもかあさん	著：アニータ・ローベル 絵：アニータ・ローベル 訳：いませよしとも	信成社 1982年
21	ジャムおじさま	著：マーガレット・マーヒー 絵：ヘレン・フレイグ 訳：たなかかおるこ	徳間書店 1998年
22	マッチ売りの少女	著：ハンス・クリスチャン・アンデルセン 絵：クワイエタ・パツォウスカ 訳：掛川恭子	ほるぷ出版 2006年
23	ものぐさトミー	著：ウィリアム・ベーン・デュボア 絵：ウィリアム・ベーン・デュボア 訳：松岡享子	岩波書店 1977年
<b>IV. 儀式としての食</b>			
24	14ひきのあさごはん	著：いわむらかずお 絵：いわむらかずお	童心社 1983年
25	壬女さまは4時におみえになる ある愛のお話	著：グオルフデイトリヒ・シュレ 絵：ロートラウト・ズダンネ・ベルナー 訳：ひらのきょうこ	信成社 2001年
26	おかえし	著：村山桂子 絵：熊茂恭子	福音館書店 1985年
27	きのみのでん	著：たるいしまこ 絵：たるいしまこ	福音館書店 1992年
28	こどもザイレン ひみつのなつまつり	著：伊藤秀男 絵：伊藤秀男	ポプラ社 2002年
29	ジュリアスはどこ？	著：ジョン・バーニンガム 絵：ジョン・バーニンガム 訳：谷川俊太郎	あかね書房 1987年
30	せきたんやのくまさん	著：フィービとセルピ・ウォーゼント 絵：フィービとセルピ・ウォーゼント 訳：いしいももこ	福音館書店 1979年
31	たんじょうび	著：ハンス・フィッシャー 絵：ハンス・フィッシャー 訳：おおかみゆうぞう	福音館書店 1966年
32	ちいさくなったパパ	著：ウルフ・スタルク 絵：はたこうしろう 訳：菱木晃子	小峰書店 1999年
33	ちいさないえがありました	著：パールブロー・リンドグレン 絵：エヴァ・エリクソン 訳：ひしきあきらこ	小峰書店 1997年
34	雪の日のパーティー 〈のぼらの村のものがたり〉	著：ジル・パークレム 絵：ジル・パークレム 訳：岸田妙子	講談社 1998年
<b>V. 擬人化された食べもの</b>			
35	あんぱんまん	著：やなせたかし 絵：やなせたかし	フレーベル館 1976年
36	おだんごばん	ロシア民謡 絵：わきたかかず 訳：せたいいじ	福音館書店 1966年
37	キャベツくん	著：長新太 絵：長新太	文研出版 1980年
38	さつまいものおいも	著：中川ひろたか 絵：村上康成	童心社 1995年
39	そらめくんのベッド	著：なかやみわ 絵：なかやみわ	福音館書店 1999年
40	だいきんどのわかし	著：渡辺節子 絵：二俣英五郎	ほるぷ出版 1984年
41	たまねぎあたまのたまねぎごろう	著：二宮由紀子 絵：スズキコージ	ポプラ社 2002年
42	ピーナツちゃんどーなツちゃん	著：つつみあれい 絵：つつみあれい	小峰書店 2001年
43	もぐらのホリーともぐらいも	著：あきみいくよ 絵：あきみいくよ	信成社 2006年
<b>VI. 教育と食</b>			
44	おさちをあらわなかつたおじさん	著：フィリス・クラジラフスキー 絵：パーバラ・クニー 訳：光吉夏弥	岩波書店 1978年
45	かいじゅうたちのいるところ	著：モーリス・センダック 絵：モーリス・センダック 訳：じんぐうてるお	富山房 1975年
46	くいしんぼうのはなごさん	著：いしいももこ 絵：なかにちもよこ	福音館書店 1965年
47	くわすにようぼう	日本語 再話：稲田和子 絵：赤羽末吉	福音館書店 1980年
48	鹿よ おれの兄弟よ	著：神沢利子 絵：G・D・バヴリーシン	福音館書店 2004年
49	ジャムつきパンとフランス	著：ラッセル・ホーバン 絵：リアン・ホーバン 訳：まつおかきょうこ	好学社 1972年
50	しろくまちゃんのほっとけーき	著：わかやまけん 絵：わかやまけん	こぐま社 1972年
51	つんつくせんせいとふしぎなりんご	著：たかどのほうこ 絵：たかどのほうこ	フレーベル館 2002年
52	にんじんばたけのバビペポ	著：かこさとし 絵：かこさとし	信成社 1973年
53	もったいないばあさん	著：真珠まりこ 絵：真珠まりこ	講談社 2004年
54	りんご	著：三木卓 絵：スーザン・パーレイ	かまくら春秋社 2000年
<b>VII. 食からわかる時代と地域</b>			
55	きつね森の山男	著：馬場のぼる 絵：馬場のぼる イソップ童話	こぐま社 1974年
56	まちのねずみといなかのねずみ	再話：ヘレン・クレイグ 絵：ヘレン・クレイグ 訳：清水宗穂子	セラー出版 1994年
57	まほうの夏	著：藤原一校、はたこうしろう 絵：はたこうしろう	岩波書店 2002年
58	やまのこどもたち	著：石井桃子 絵：深沢紅子	岩波書店 1966年

# Miyagi University Research Journal

VII. 食を通じたコミュニケーション				
59	あめのひのピクニック 〈くまのアーネストおじさん〉	著：ガブリエル・バンサン 絵：ガブリエル・バンサン 訳：もりひさし	ブックローン出版	1983年
60	おまたせクッキー	著：バット・ハッチンス 絵：バット・ハッチンス 訳：乾侑美子	偕成社	1987年
61	かぼちゃスープ	著：ヘレン・クーバー 絵：ヘレン・クーバー 訳：せなあいこ	アスラン書房	2002年
62	からすのパンやさん	著：かこさとし 絵：かこさとし	偕成社	1973年
63	ガンビーさんのふなあそび	著：ジョン・バーニンガム 絵：ジョン・バーニンガム 訳：みつよしなつや	ほるぶ出版	1976年
64	騎士とドラゴン	著：トミー・デ・バオラ 絵：トミー・デ・バオラ 訳：岡田淳	ほるぶ出版	2005年
65	ぎょうざつくれたの	著：きむらよしお 絵：きむらよしお	福音館書店	1996年
66	くまさんアイス	著：とりごえまり 絵：とりごえまり	アリス館	2003年
67	ごんぎつね	著：新美南吉 絵：黒井健	偕成社	1986年
68	サリーのこけももつみ	著：ロバート・マックロスキー 絵：ロバート・マックロスキー 訳：石井桃子	岩波書店	1976年
69	14ひきのびくにつく	著：いむらかずお 絵：いむらかずお	童心社	1986年
70	しんせつなともだち	著：方鉄羣 絵：村山知義 訳：君島久子	福音館書店	1987年
71	ターちゃんと呼び声	著：ドン・フリーマン 絵：ドン・フリーマン 訳：さいおんじちさこ	ほるぶ出版	1975年
72	ともだちくるかな	著：内田麟太郎 絵：降矢なな	偕成社	1999年
73	春のピクニック 〈新装版 のぼらの村のものがたり1〉	著：ジル・パークレム 絵：ジル・パークレム 訳：岸田持子	講談社	1996年
74	ひとまねこぎょういんへいく	著：マーガレット・レイ 絵：H・A・レイ	岩波書店	1984年
75	ふうふうぼんぼんぼん	著：水谷章三 絵：杉浦範茂	童心社	2000年
IX. 食をめぐる諸問題				
76	おんぶはこりごり	著：アンソニー・ブラウン 絵：アンソニー・ブラウン 訳：藤本朝巳	平凡社	2005年
77	さるのオズワルド	著：エゴン・マチャーセン 絵：エゴン・マチャーセン 訳：松岡享子	こぐま社	1998年
78	ぜったいたべないからね 〈チャーリーとローラのおはなし〉	著：ローレン・チャイルド 絵：ローレン・チャイルド 訳：木坂涼	フレーベル館	2002年
79	ちゃんとたべなさい	著：ケス・グレイ 絵：ニック・シャラット 訳：よしがみきょうた	小峰書店	2002年
X. 捕食関係 [食う/食われる]				
80	イボイボガエル ヒキガエル	著：三輪一雄 絵：三輪一雄	偕成社	2005年
81	おおかみのチキンシチュー	著：カザ歌子 絵：カザ歌子	西村書店	1995年
82	おおきくなりすぎたくま	著：リンド・ワード 絵：リンド・ワード 訳：渡辺茂男	ほるぶ出版	1985年
83	おなかのすくさんぼ	著：かたやまけん 絵：かたやまけん	福音館書店	1981年
84	おまえうまそうだな	著：宮西達也 絵：宮西達也	ポプラ社	2003年
85	きょうはこどもをたべてやる!	著：シルヴィア・ドニオ 絵：ドロテ・ド・モンフレッド 訳：ふしみみさを	ほるぶ出版	2004年
86	三びきのコブタのほんとうの話	著：ジョン・シエスカ 絵：レイン・スミス 訳：いくしまさちこ	岩波書店	1991年
87	11びきのねこ	著：馬場のぼる 絵：馬場のぼる	こぐま社	1967年
88	スイミー ちいさなかしこいさかなのはなし	著：レオ・レオニ 絵：レオ・レオニ 訳：谷川俊太郎	好学社	1969年
89	タンポポタヌキ、もりのタネ。	著：しもだともみ 絵：しもだともみ	教育画劇	2005年
90	チョコレートを食べたさかな	著：みやざきひろかず 絵：みやざきひろかず	ブックローン出版	1989年
91	番ねずみのヤカちゃん	著：リチャード・ウィルバー 絵：大江玲子 訳：松岡享子	福音館書店	1992年
92	山のごちそうどんぐりの木	著：ゆのきまうこ 絵：川上和生	理論社	2005年
93	ロージーのおさんぼ	著：バット・ハッチンス 絵：バット・ハッチンス 訳：わたなべしげお	偕成社	1975年
94	わにくん	著：ペーター・ニクル 絵：ピネッチ・シュレーダー 訳：やがわすみこ	偕成社	1980年